

天井埋込型換気扇 VF-C17KC2/90P



施工説明書

□175<天井付型>

1 安全のために必ずお守りください

- 取り付けの前に、この事項を必ずお読みになり、正しく安全に取り付けてください。
- この項に示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ずお守りください。
- 表示の意味は次のとおりになっています。

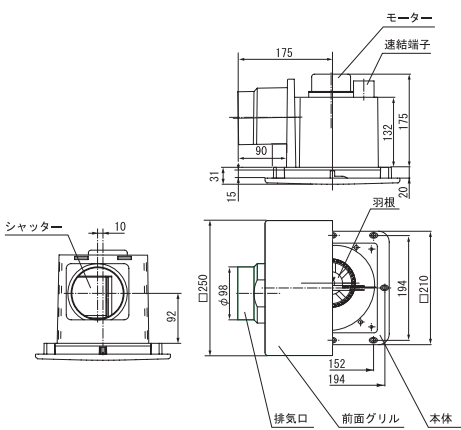
警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死にまたは重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	「禁止」 を表します
注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。	「分解禁止」 を表します
		「必ず行うこと」 を表します
		「水かけ禁止」 を表します

■取付施工完了後、この項の注意事項が守られているか確認のうえ、試運転を行い異常がないか確認し、取扱説明書に沿ってお客様に使用方法、お手入れのしかたを説明してください。この施工説明書は、取扱説明書と共にお客様がいつでも見られる所に必ず保管するようお願いしてください。

警告	取付工事、電源接続工事には資格のある者・検定に従って、必ず取扱説明書が伴ってください。 違法な工事や不適切な工事は火災等の事故につながる恐れがあります。	警告	メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属網張りの木造の建物の天井に金属製ダクトが設置する場合は、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板と電気的に接続しないように取り付けてください。
禁止	単相交流100V以下で使用しないでください。 火災・感電の原因となります。	注意	逆巻はしないでください。また、機種取外し時の人は、分解したり修理をしないでください。
禁止	製品を水につけたり、水をかけたりしないでください。 ショート・感電の原因となります。	注意	火災・感電・けがの原因となります。 修理は専門業者による点検または弊社へご相談ください。

注意	●電源電線の接続は行ってください。 接続部が過熱して発火の恐れがあります。	注意	●本体取り付け工事は十分強度が保たれるよう確実に行ってください。 落下により、けがをすめる恐れがあります。
注意	●製品の取り付けは確実に行ってください。 落下により、けがをすめる恐れがあります。	注意	●本体や部品等を洗浄したり、雨ざらしにしないでください。 火災や感電の原因となります。
禁止	●炎がある恐れのある場所には取り付けしないでください。 製品の变形、火災の原因となります。	注意	●湿度の高い場所ではアースを確実に取り付けてください。 故障や感電のときに感電の原因となります。
禁止	●天井取付専用のため、壁には取り付けしないでください。 落下によりけがをすることがあります。	注意	●取付けの際は手袋を着用してください。 着用しないけがをすることがあります。
禁止	●高温(40℃以上)になる場所や直接炎があたり、油煙の多い場所や可燃物が付着する場所には取り付けしないでください。 火災の恐れがあります。	注意	●取付け後長期使用しない場合は、必ず分電盤のブレーカーを切るか電源プラグの抜きはコンセントから抜いてください。 感電や火災による感電や火災の原因となる場合があります。

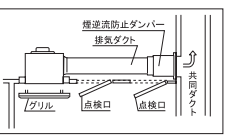
2 各部の名称と寸法[単位:mm]



取付枠寸法 □175
付属品 ●取付ネジ4.0×25 6本

3 特に注意していただきたいこと

- 換気扇の取付けには下記の様な規制がありますのであらかじめご確認ください。
- プラスチックボディ及びジャバラの使用については、地区により異なる規制を受ける場合がありますので、あらかじめ所轄の官公庁(特に消防署)にご相談ください。
 - 共同ダクトへ排気する場合は、建築基準法施行令により、2mの鋼板立ち上がりダクトを取り付けるか、別売品の煙逆流防止ダンパを取付けて点検口を必ず設けてください。
 - メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属網張りの木造物に金属ダクトが貫通する場合、電気的に接続しないようにしてください。(電気技術基準による)



取付場所

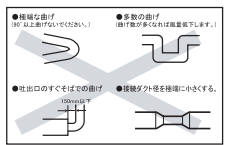
- この製品は浴室・トイレ・洗面所用です。次の様な場所には取付けしないでください。
 - 換気扇付近の温度が40℃以上になるところは避けてください。高温で使用されますと製品の変形やモーターの故障の原因にもなります。
 - 台所など油煙の多いところに取付けしないでください。本体・グリルの破損などの原因になります。
- ※密閉された建物では、汚れた空気を排出するとき、新鮮な空気の入るところが必要で、換気扇の反対側に空気取入口を設けてください。

取付

- 取付が不十分だと危険です。また振動・異常音の原因になります。製品重量に耐えられるよう取付方法に従って取付けてください。
- 換気扇を取付けた天井には、必ずダクト接続部が点検できる保守点検口を設けてください。
- 天井材は共鳴しにくい石こうボード・吸音板・繊維板などをご使用ください。
- 配線工事は専門の工事店へご相談ください。

ダクト工事

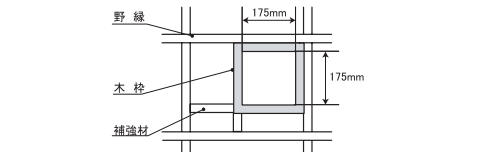
- 排気ダクトは雨水の侵入を防ぐため屋外に向けて1/100以上の傾斜をつけてください。
- 右図のようなダクト工事はしないでください。風量低下や異常音発生の原因になります。
- 排気ダクトの先端には、鳥などの侵入を防ぐためのペントキャップ(別売品)などを取付けることをお勧めします。



4 取付方法

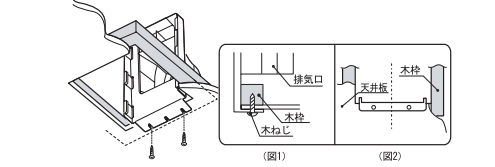
1. 木枠寸法

- 木枠寸法にあわせて木枠をつくり、野縁に固定します。
- 木枠は天井板と合わせた寸法が40mm以下になるようにしてください。
- 製品の重量に十分耐えるように、木枠を補強材等で野縁に固定します。



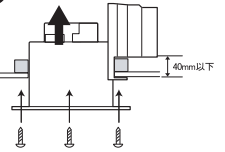
2. 木枠寸法

- 排気口天井板と木枠に付属の木ネジ(2本)で固定します。(図1)
- 排気口が天井板と木枠の中心にくるようにして取付けてください。(図2)



3. 本体を天井板と木枠に固定

- 本体を天井板と木枠にはめ込みます。
- 本体が排気口に密着していることを確かめてから、付属の木ネジ(4本)で本体を天井板と木枠にしっかりと固定します。

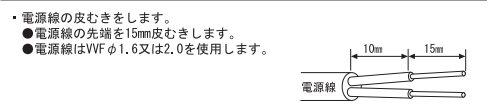


4 取付方法(つづき)

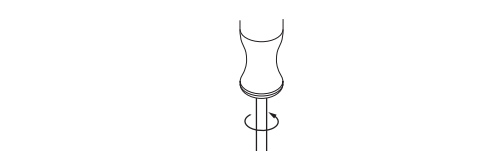
4. 電気配線工事

注意

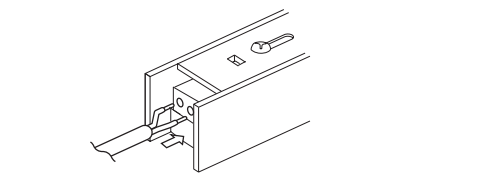
- 電気工事は電気設備技術基準や内線規程に基づき、電気工事士の免許を持った方が行ってください。
- 本機は、単相100V専用です。
- 取り付ける地域に対応した周波数を調べて設定してください。
- 電力会社の契約電力量が不足している場合は、追加工事を行ってください。
- 電気工事は必ず分電盤のブレーカーを切って行ってください。
- 接続時に心臓がけをしないように必ず確認してください。差し込み不十分な場合、発熱する恐れがあり、損傷や火災の原因になります。



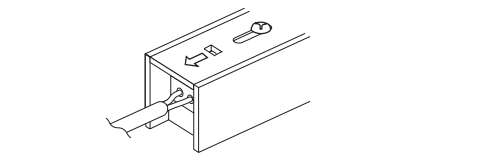
- 電源線の皮むきをします。
- 電源線の先端を15mm皮むきします。
- 電源線はVVF 1.6又は2.0を使用します。



- 端子台カバー
- 連結端子
- 電源線を本体の連結端子に差し込みます。



- 端子台カバーをスライドさせて閉じ、ネジを締めます。



- 注意**
- 電源線は皮むきした部分が端子より出ない様にしてください。
 - 電源線は必ずアース線は、ボタン部を押しながら電源線を引き抜いてください。

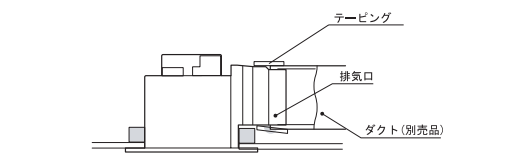
- アース線を接続します。
- 電源線及びアース線は、本体付近で70cm以上たるませてください。

- 注意**
- 配線工事やスイッチの取付は必ず工事店に依頼してください。
 - スイッチは必ず活線側に取付けてください。

4 取付方法(つづき)

5. 排気口へのダクト(別売品)の接続

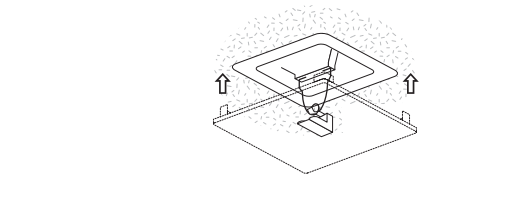
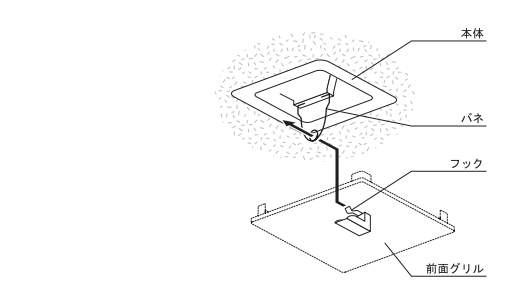
- ダクトを排気口にしっかりと差し込んで風漏れがないように、市販のアルミテープ等でダクト接続部をテーピングします。



- ダクトは室外側を若干下げて取付けてください。

6. グリルの取付

- 本体についているパネをつかみ、引っ張り下げ、前面グリルについているフックに引っ掛け、手を放し、軽く前面グリルを押し取付けます。



5 点検・試運転

1. 点検

- 工事が終わりましたら本体と前面グリルが確実に取り付けられているか点検をおこなってください。

2. 試運転

- 試運転を行い、正常運転するかを確認してください。